

令和3年度 北九州市立美術館 展覧会実績

展覧会名	会期	概要	入館者数 (人)	会場
再興第105回院展	4/21～5/11 (5/12～16 臨時休館)	岡倉天心が創設した日本美術院が主催する、日本画の展覧会。同人作家の新作・受賞作品、九州出身・在住作家の入選作品を展示。伝統と創造の精神を受け継ぐ現代日本画の粋を楽しめる。	3,036	本館
画家たちの自画像 藤田嗣治から草間彌生まで	4/24～6/20 (5/12～6/7 臨時休館)	笠間日動美術館の自画像コレクションに当館が所蔵する自画像を加えて、画家の分身ともいえる自画像の世界を紹介。画家たちが多彩な描き方や演出で挑んだ自画像を通して、彼らの心の内や制作の姿勢に迫る。	2,157	分館
コレクション展 I ハロー！ミュージアム！	4/29～7/11	「作品との出会い」をキーワードに、当館のコレクションを代表する印象派の名作をはじめ、国内外の現代アート作品を選抜して紹介。	4,714	本館
ゲキシビジョン vol.2 モネ、逆さまの睡蓮	5/1～5/4	劇場コラボ企画を実施。	300	本館
ザ・フィンランドデザイン展	6/26～8/29	アルヴァ・アアルトら巨匠たちの工芸や家具など、日本で根強い人気を誇るデザイン・プロダクツと作品を一堂に展示。フィンランドの人々の豊かなライフスタイルと、彩りに溢れ創造に満ちたデザインの数々を写真や映像とともに紹介する。	18,612	本館
浮世絵に見る歌舞伎の世界	7/17～8/15	当館の浮世絵版画コレクションから、現代でも人気の歌舞伎演目「仮名手本忠臣蔵」を題材にした浮世絵を中心に、歌舞伎絵と呼ばれるジャンルの浮世絵を特集。このほか、本市ゆかりの画家竹久夢二をはじめとした日本画の大作を展示。	2,884	分館
コレクション展II 特集 動物たちのいるところ(前期)	7/31～10/24	生誕110周年を迎える香月泰男の作品を中心に、動物をモチーフにした多様な作品を紹介する。ほか、「guest room」シリーズ第6弾として、石井勢津子のホログラム作品を公開。	4,218	本館
三沢厚彦 ANIMALS 2021 IN KITAKYUSHU	9/18～11/7	現代日本を代表する彫刻家・三沢厚彦が2000年から手がける動物の木彫シリーズ「ANIMALS(アニマルズ)」。身近な動物から空想上の生き物まで、樟を等身大に彫りだした作品は、圧倒的な存在感を放ち観る者の心をとらえる。	7,228	本館
「好き」を形にする。フィギュアの世界	9/18～10/31	日本が世界に誇る「フィギュア」制作技術。精巧かつ表現力豊かなその造形の魅力は万人の心を捕らえて離さない。海洋堂によるバラエティ豊かな作品の数々をはじめ、フィギュア制作の実際の過程を学び、3D化されたニュース写真に驚く異色の展覧会。	8,754	分館
コレクション展II 特集 動物たちのいるところ(後期)	11/2～1/23	生誕110周年を迎える香月泰男の作品を中心に、動物をモチーフにした多様な作品を紹介する。いのちのたび博物館からの特別出品もあり。	6,172	本館
第76回 県展	11/24～11/28	日本画・洋画・彫刻・書・写真・工芸・グラフィックデザインの7部門を展示。	2,274	本館
こぐまちゃんとしろくまちゃん 絵本作家・わかやまけんの世界	11/27～1/23	半世紀にわたり世代を超えて読み継がれている「こぐまちゃんえほん」シリーズをはじめ、絵本作家・わかやまけん(1930-2015)が手がけた多彩な絵本の世界を紹介する初の回顧展。	15,847	分館
ロートレックとベル・エポックの巴里1900年	12/18～2/6	19世紀末から20世紀初頭にかけて、産業や芸術、大衆文化が大きく花開いたパリ。のちに「ベル・エポック(良き時代)」と呼ばれたこの華やかなりし時代を、トゥールーズ＝ロートレックやミュシャ、ドガら136人の芸術家たちによる300点以上の作品で振り返る。	8,461	本館